



# ～hugくみ～

## 合唱練習、本格始動

本日で三者面談が終了となり、明日からは文化祭に向けて合唱練習が本格化していきます。ほぼ毎日4校時には一般教室と特別教室、そして体育館を利用した合唱練習があります。また、実施日や細かな時間はクラスごとの計画によりますが、朝の8時00分～8時25分も合唱練習可能となります。

本来であれば期末テスト終了後から合唱練習に本腰を入れていくところなのですが、3年生は三者面談があった関係で、2週間遅れでの本格始動です。ここから15日（水）のクラス合唱リハーサルに向けて約1週間で自分たちの合唱を形作っていき、リハーサルでお互いの合唱を披露&鑑賞しう中で受けた刺激をさらなるエネルギーに変え、22日（水）の本番に向け、最後の1週間で自分たちならではの合唱を仕上げていきます。短い期間での急ピッチの合唱練習となりますが、きっと密度の濃い有意義な時間になることと思います。そんな中、練習を重ねる過程で仲間同士の意識にズレが生じ、そのことに思い悩む人が出てきたりすることもあるかもしれません。それでも、この合唱の取り組みは、クラスという一つの集団がまとまって何かに取り組んでいくという意味で、青空学年にとって東中学校最後の取り組みとなります。様々なことを乗り越えて、今のこのクラスにしか歌えない、自分たちにとって最幸の思い出深い合唱を歌い上げてもらえたらと思います。12月22日（水）、東中学校の体育館で、3学年全5クラスの合唱に右にある谷川俊太郎さんの詩のような瞬間が訪れることを願っています。

学年目標

# 飛

～素直な心でお互いに尊重し合い、小さな翼を立派に成長させて未来へ翔けだそう～

《修学旅行 目標》

## Ultimate School Trip

～究極の修学旅行～

- 一、団結をして仲を深める
- 一、伝統文化を学び、思い出に残す
- 一、コロナに負けるな！健康第一！
- 一、ルールを守って、安全に気をつける
- 一、パッと臨機応変に行動、ピースを大事に

ころころと 心はころがる  
あっちへ こっちへ  
ころがってぶつかる  
あっちの心と こっちの心

だが時に 一瞬に溶けあう  
朝の光に艶めく みどりの葉の上で  
ふたしずくの 露のように

## 三年間の集大成として ～国際性とは～

国語科の授業で「温かいスープ」という哲学者・今道友信さんの過去の体験を交えた随筆を取り扱いました。そこでの筆者の「**国際性の基本は、（語学力や才能、事業のスケールなどではなく）相手の立場を思いやる優しさ、お互いが人類の仲間であるという自覚、つまり、求めるところのない隣人愛としての人類愛である。**」という考え方に対して自分自身がどう考えるか、ということテーマに中学校3年間の集大成であることを意識して意見文を書いてもらいました。まさに集大成にふさわしい論理的にも思想的にもう一つ大人になったことを感じさせる作文が多くあり、「授業者」という視点とは別に一人の「読者」として楽しみ味わいながら読ませていただきました。そんな中筆者の意見に賛成しつつも、それだけに留まらず、人と人とがつながるために独自の意見を自分の経験なども交えながら説得力をもって表現している作文がありましたので、ご紹介します。

(裏面に記載あり)

筆者の、国際性の根本は相手の立場を思いやる優しさだという意見には、賛成しません。文化や生活の違う人々と一緒に生きていくのが歴史を見ても難しいのは、みんなが分かっていると思います。そんな中で世界が一体となるためには一人ひとりが互いを思いやる必要があると思います。でも正直、これらを意識するだけで何かがガラッと変わることはないと思います。だから、地道に一步ずつ進めていくことが大切だと思います。

そして私には、これともう二つ、国際社会を進めていくために必要だと考えていることがあります。

一つ目は、一人ひとりの意見を受け入れる力です。これは私が十四年間生きてきて、人と接する上で一番大事だと感じることです。受け入れるといっても、すべての意見を絶対に受け入れないといけないわけではありません。ただ、一回受け入れてみるのです。一回受け入れて相手の立場と自分の立場を重ねて考えてみる。そうすることで、相手の考えをより詳しく理解できて、相手を傷つけてしまうような対立を防げたり、様々な考え方ができるようになるなど、相手にも自分にもプラスになります。もちろんそこで「ちがうんじゃないかな。」と思うことがあるなら、冷静に分析したことを相手に伝えることもできます。

二つ目は、外国語を学ぶことです。根底には、優しさをもつということは大事だけれど、行動しないと理解はし合えないと私は思います。そこで、まず最初に取り組むべきなのが、言語を学ぶことです。人類が意思疎通をするためには共通の言葉話すことが必要だったと思います。私も駅で中国人の方に何かを聞かれた時に、教えてあげたいという気持ちはあったけれど中国語が分からず、結局教えられませんでした。今は翻訳機などの機械もあるけれど、私は自分で習得した外国語で、人と人として話す方が、気持ちが伝わりやすいと思います。

こうした力を一人でも多くの人々が持てるようになるためには、大学や高校の勉強などをもっと受けやすくするなど、教育や国を変えていくことが必要になると思います。

上の文章中にある「ただ、一回受け入れてみるのです。」という言葉は、身近な人間関係においても、国際性という視点においても、本当に大切な感覚だと思います。青空学年の生徒たちの胸に、こういった感覚（言葉）をぜひとも留めておいてもらえたら嬉しいです。

## 今後の予定

(今 週)

日	曜	行事等
6	月	全校朝会 <b>8:20登校</b> 45分授業 ①②③④ 三者面談・面接練習
7	火	45分授業 帰学活+15分
8	水	45分授業 昼休みカット 清掃カット ⑥立会演説会
9	木	45分授業 帰学活+15分
10	金	40分授業 清掃カット ④③②① 帰学活+15分

(来 週)

日	曜	行事等
13	月	40分授業 ①③④⑤
14	火	40分授業 帰学活+15分 ①②③総
15	水	40分授業 入試相談開始 ①②③総(クラス合唱リハーサル)
16	木	40分授業 帰学活+15分 月⑤火④水④総
17	金	40分授業 ④⑤③学

※「諸活動停止」は放課後の活動がすべて無しで帰り学活後に全員下校することを示します。

※月間を通しての行事予定は、学校だよりおよび学校ホームページにてご確認ください。